

【参考資料】

- ・ 参考資料 1 法人調査票
- ・ 参考資料 2 事業所調査票（WEB 版）
- ・ 参考資料 3 本人調査票（WEB 版）
- ・ 参考資料 4 登録支援機関調査票（一次）
- ・ 参考資料 5 登録支援機関調査票（二次）

介護分野における特定技能外国人の受入れに関するアンケート調査

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より事業団の活動につきましては、ご理解、ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、当事業団では、厚生労働省補助事業である老人保健健康増進等事業により、標記のアンケート調査を実施することになりました。

本アンケート調査は、介護分野に係る特定技能外国人の受入れの実態等を把握することにより、今後の施策検討のための基礎資料を収集することを目的としております。

ご多用のところ恐れ入りますが、本アンケート調査の趣旨をご理解の上、ご協力頂けまよう何卒よろしくお願い申し上げます。

公益社団法人国際厚生事業団
外国人介護人材支援部

<ご回答について>

- ・本調査票（法人調査票）は、令和3年9月1日時点で、介護分野における特定技能協議会に入会している受入機関（医療・介護事業者）にお送りしております。
- ・ご回答は、特定技能外国人の受入れを担当している部署の方にお願いします。
- ・本調査票（法人調査票）が届いた時点で、当該特定技能外国人の離転職等の理由により、貴法人に在籍している特定技能外国人が「0（ゼロ）人」の場合はご回答不要です。
- ・ご回答済みの調査票は同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、お手数ではございますが、**令和3年11月12日（金）まで**に投函をお願いいたします。
- ・なお、本アンケート調査は、特定技能外国人を受け入れている事業所、及び特定技能外国人ご本人も調査対象となっております。貴法人が運営する事業所のうち、令和3年9月1日時点で特定技能外国人を受け入れている事業所にも、別途、調査依頼文（事業所調査、本人調査：いずれもインターネット調査にて実施）を送付させていただきます。

<本調査に関するお問い合わせ先>

公益社団法人国際厚生事業団 特定技能外国人調査事務局

E-mail：fcw-chosa@jicwels.or.jp 電話：03-6257-1915（10:00～17:00）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、在宅勤務を行っております。

お問い合わせにつきましては、なるべく E-mail にてお願い申し上げます。

<情報の取扱いについて>

ご回答頂いた情報は、すべて統計的に処理し、個別のご回答内容が厚生労働省、当事業団以外に知られることはございません。また、データ処理について外部事業者へ委託する場合は、適切な委託業者を選定してデータの安全管理が図られるよう、委託を受けた者に対して適切な監督を行います。

※以下の設問について、特に注意書きのない限り、令和3年10月1日時点の状況についてお答えください。

はじめに、貴法人のご連絡先をご記入ください

法人の名称		
法人の種類	1. 地方公共団体（市区町村、広域連合、一部事務組合） 2. 社会福祉法人 3. 医療法人	4. 株式会社 5. その他
本部の所在地	（ 都・道・府・県 ）	

1. 貴法人の概要についてお尋ねします

問1 貴法人で特定技能外国人を受け入れた理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 「就労」を目的とした在留資格「特定技能」に係る趣旨に共感したから
2. 在留資格「特定技能」は在留期間中に試験等を受けなくても5年間滞在できるから
3. 特定技能外国人は、介護技能評価試験・介護日本語評価試験に合格した一定の専門性・技能を有する人材だから
4. 特定技能外国人には、試験等に向けての計画的な指導をする必要がないから
5. 他の在留資格と比べて、受入れの手続きが容易であるから
6. 在留資格「特定技能」による受入れノウハウを蓄積したいから
7. 登録支援機関や人材サービス事業者に勧められたから
8. その他（具体的に： ）

問2 貴法人の事業所数、介護職員数についてお尋ねします。

(1) 貴法人が運営する事業所数 (数字を記入)

事業所数 合計		事業所
うち訪問系サービス以外 (特定技能外国人受入れ対象)		事業所

(2) 貴法人全体の職員数（実人数）（数字を記入）

職員数（実人数）	人
うち介護職員数（実人数）	人
うち外国人介護職員数（実人数）	人
特定技能外国人数	人

（注）契約社員、嘱託、パート・アルバイトも含めてお答えください。派遣は除いてください。

(3) 現在の介護職員の充足感（○は1つ）

1. おおいに不足している	4. 適当
2. 不足している	5. 過剰
3. やや不足している	

問3 貴法人で受け入れている特定技能外国人についてお尋ねします。

(1) 特定技能外国人の出身国・地域（○はいくつでも）

1. ベトナム	7. カンボジア	13. パキスタン
2. インドネシア	8. タイ	14. インド
3. フィリピン	9. モンゴル	15. その他（具体的に：
4. 中国	10. スリランカ	）
5. ミャンマー	11. バングラデシュ	
6. ネパール	12. ウズベキスタン	

(2) 上記（1）で回答した国・地域出身の特定技能外国人を受け入れた理由（○はいくつでも）

1. 当該国・地域出身の、他の在留資格の外国人を受け入れた経験があるから
2. 当該国・地域にこれまでの経験等を活かしたネットワークを持っているから
3. 日本の介護分野で働くことを希望する人材が多いから
4. 当該国・地域の人材の国民性や習慣が日本の介護分野に合っているから
5. 当該国・地域が人材の送出国に積極的に取り組んでいるから
6. 当該国・地域の送出国に係る手続きが比較的容易であるから
7. 登録支援機関や人材サービス事業者に勧められたから
8. 他の医療・介護事業者から勧められたから
9. 自治体とその国・地域からの受入れに取り組んでいるから
10. 当該国・地域からの受入れが世の中で注目されているから
11. その他（具体的に：

(3) 在留資格「特定技能」の取得方法別の人数（数字を記入。該当者がいない項目には「0（ゼロ）」、不明の項目には「-」を記入。以下同様。）

在留資格「特定技能」の取得方法	人数
1. 技能実習（介護）からの在留資格変更者	人
2. 技能実習（介護以外）からの在留資格変更者	人
3. 特定活動（EPA）からの在留資格変更者	人
4. 上記以外の国内試験合格者	人
5. 上記以外の海外試験合格者	人

問 4 特定技能外国人以外の外国人介護職員についてお尋ねします。

(1) 貴法人で受け入れている特定技能外国人以外の外国人介護職員 (○はいくつでも)

1. EPA 介護福祉士	6. 在留資格「介護」をもつ外国人
2. EPA 介護福祉士候補者	7. 身分系の在留資格をもつ外国人
3. 技能実習 1 号	8. 留学生アルバイト
4. 技能実習 2 号	9. 受け入れていない（特定技能外国人のみ受け入れている）
5. 技能実習 3 号	

(2) 上記(1)で選択肢3～5を回答した方(技能実習生を受け入れている法人)にお尋ねします。技能実習2号修了後の外国人介護職員に対する貴法人の方針をお答えください。(〇はいくつでも)

※技能実習生を受け入っていない法人は問5にお進みください。

1. 特定技能への移行を推奨	4. 本人の希望次第
2. 技能実習3号への移行を推奨	5. 本人の状況次第で検討
3. 介護福祉士国家資格の取得を推奨	6. その他（具体的に： ）
	7. 分からない

(3) 上記(2)で選択肢1(特定技能への移行を推奨)を回答した方にお尋ねします。その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 貴法人が運営する事業所であるべく長く働いてほしいから
2. 本人の待遇が向上するから
3. 本人のキャリアアップのためになるから
4. 監理団体が「優良な監理団体」の要件を満たしていないから
5. 貴法人が「優良な実習実施者」の要件を満たすことが難しいから
6. 技能実習3号移行に際して求められる一時帰国が難しかったから
7. その他（具体的に： ）

2. 職員の人材育成や就労環境等の改善につながる取組についてお尋ねします

※下記の問5から問7(2)については、特定技能外国人にかかわらずお答えください。

問5 貴法人における介護職員のキャリアパスについてお尋ねします。

(1) 貴法人では、キャリアのコースや段階、キャリアアップの仕組みが明確になったキャリアパスを策定していますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------|------------|
| 1. 策定し、職員全員に公表している | 3. 策定中 |
| 2. 策定しているが、職員全員には公表していない | 4. 策定していない |

(2) 上記(1)で選択肢1(策定し、職員全員に公表している)、選択肢2(策定しているが、職員全員には公表していない)を回答した方にお尋ねします。キャリアパスの策定に関して、どのような取組を実施しましたか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1. キャリアの各段階の役割の明確化 | 7. 介護福祉士国家資格の取得支援 |
| 2. キャリアの各段階で必要となる知識・技術の明確化 | 8. 介護福祉士以外の資格取得支援 |
| 3. スキルや能力に関する評価基準の設定 | 9. 法人内の他分野の事業所への異動や研修制度 |
| 4. 評価に応じた処遇の整備 | 10. 地域の他法人での研修制度 |
| 5. 有資格者の役職者への登用 | 11. その他 |
| 6. 教育・研修制度の整備・拡充 | (具体的に：) |

問6 貴法人には、介護福祉士国家資格を取得した職員に対する昇給等の仕組みがありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------|----------------|
| 1. 昇給あり | 4. その他(具体的に：) |
| 2. 手当あり | 5. 昇給等の仕組みはない |
| 3. 一時金あり | |

問7 貴法人が、介護業務に導入しているICT(情報通信技術)についてお尋ねします。

(1) どのような業務でICTを導入していますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| 1. 生活援助 | 9. 家族とのコミュニケーション |
| 2. 清拭・入浴介助 | 10. 利用者に関する情報の記録、共有 |
| 3. 移動・移乗介助 | 11. ケース会議やカンファレンスなどの運営や進行 |
| 4. 食事介助 | 12. 職員の就労状況の管理 |
| 5. 排せつ介助 | 13. その他 |
| 6. レクリエーションの運営や進行 | (具体的に：) |
| 7. 利用者の見守り、安全管理 | 14. 導入していない →問8へ |
| 8. 利用者の精神的ケア、癒し | |

(2) 上記(1)で選択肢 1～13を回答した方にお尋ねします。どのような ICT を導入していますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|-----------------------------|
| 1. タブレット端末・スマートフォン | 6. 移乗や移動など、介護負担軽減のための介護ロボット |
| 2. インカム | |
| 3. 介護記録ソフトウェア（多言語対応あり） | 7. コミュニケーション支援のための介護ロボット |
| 4. 介護記録ソフトウェア（多言語対応なし） | |
| 5. 見守りセンサー | 8. その他（具体的に：_____） |

(注) ロボットの定義とは「情報を感知（センサー系）」「判断し（知能・制御系）」「動作する（駆動系）」の3つの要素技術を有する、知能化した機械システム。このうち、ロボット技術が応用され利用者の自立支援や介護者の負担の軽減に役立つ介護機器を介護ロボットという。

(3) 上記(1)で選択肢 1～13を回答した方にお尋ねします。ICT の導入は特定技能外国人にどのような影響を与えていますか。(○はいくつでも)

- | |
|---------------------------|
| 1. 日本語能力の向上に役立っている |
| 2. 介護知識・技能の向上に役立っている |
| 3. 日本人職員とのコミュニケーションが円滑になる |
| 4. 業務に早く馴染むことができる |
| 5. その他（具体的に：_____） |
| 6. 特になし |

3. 特定技能外国人の受入れ体制についてお尋ねします

問8 登録支援機関の利用の有無についてお尋ねします。

(1) 特定技能外国人の受入れについて、登録支援機関を利用していますか。(○は1つ)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 利用している |
| 2. 利用していない → 問11（下記 P8 中央）へ |

(2) 上記(1)で選択肢 1（利用している）を回答した方にお尋ねします。いくつの登録支援機関を利用していますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|---------|
| 1. 1社 | 3. 3社以上 |
| 2. 2社 | |

(3) 上記(2)で選択肢 2（2社）、選択肢 3（3社以上）を回答した方にお尋ねします。複数の登録支援機関を利用している理由はどのようなことですか。(○はいくつでも)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 国・地域ごとに、異なる登録支援機関を利用しているから |
| 2. 支援内容ごとに、異なる登録支援機関を利用しているから |
| 3. 特定技能外国人の受入れ人数を増やしたいから |
| 4. それぞれの登録支援機関のサービスの特徴や強みを活用したいから |
| 5. それぞれの登録支援機関のサービスを比較したいから |
| 6. その他（具体的に：_____） |
| 7. 特になし |

(1) 登録支援機関を選ぶ際のポイントは何だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 介護分野における特定技能外国人の受入れ実績
2. ニーズに合った支援内容
3. 現地の送出機関や教育機関とのネットワーク
4. 国内の日本語学校、介護福祉士養成施設等の関係機関とのネットワーク
5. 支援に対する費用が適当な金額であること
6. 支援に対する費用が明確に示されていること
7. 登録支援機関の事務所が近くにあること
8. 専任の担当者がいること
9. 医療・介護事業者が設立に関わった機関であること
10. 人材サービス事業者が設立に関わった機関であること
11. 教育機関が設立に関わった機関であること
12. その他（具体的に：

--	--	--

(1) 登録支援機関を利用しない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 外国人の受入れに関するノウハウを持っているから
2. 新しい在留資格「特定技能」による受入れノウハウを蓄積したいから
3. 海外現地の送出国機関や教育機関とのネットワークを持っているから
4. 国内の日本語学校、介護福祉士養成施設等の関係機関とのネットワークを持っているから
5. 送出国機関と直接連絡を取りたいから
6. 登録支援機関に支払う費用が高いから
7. ニーズに合った登録支援機関が見つからないから
8. その他（具体的に： ）

※海外からの受入れに取り組んでいない方は問 12（P9 中央）へお進みください。

名称（文字を記入）	主たる事務所の所在地（文字を記入）	
	国名	都市名

8

(3) 上記(2)で回答した現地の送出機関・教育機関を選んだ理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 当該送出機関における人材募集・育成の方針に共感したから
2. 介護分野で日本に人材を送り出した実績があるから
3. 現地における日本語の教育・研修内容が充実しているから
4. 現地における介護知識・技能の教育・研修内容が充実しているから
5. 現地で教育機関を運営している、あるいは現地の教育機関と連携しているから
6. 日本人スタッフの常駐など、日本語でのコミュニケーションがとりやすいから
7. 日本国内に事務所があり、入国前後で一貫した支援をしてくれるから
8. 費用が安いから
9. 関係機関等に紹介されたから
10. その他(具体的に:)

問 12 特定技能外国人の受入れについて、連携している国内の関係機関についてお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|---------------------------|
| 1. 自治体(都道府県) | 7. 日本語学校 |
| 2. 自治体(市区町村) | 8. 介護福祉士養成施設 |
| 3. 社会福祉協議会 | 9. 日本語学校・介護福祉士養成施設以外の教育機関 |
| 4. 介護・医療分野の業界団体 | 10. 地域の国際交流団体・外国人支援団体 |
| 5. 他の医療・介護事業者 | 11. その他(具体的に:) |
| 6. 登録支援機関 | 12. 特になし |

4. 特定技能外国人受入れの基準と支援についてお尋ねします

問 13 他の在留資格と比べて、特定技能外国人の受入れにあたり重視していることは何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 即戦力としての活躍 | 10. 主体性や誠実さ |
| 2. 介護という仕事に対する理解度 | 11. 介護の仕事の継続意向 |
| 3. 日本の介護知識・技能の習得に対する意欲 | 12. 日本への定住意向 |
| 4. 日本語能力 | 13. 貴法人での就労継続意向 |
| 5. 日本の文化・慣習に対する理解度 | 14. 将来の目標 |
| 6. 日本語や日本の文化を知ろうという意欲 | 15. 他の職員とのバランス・相性 |
| 7. 母国の看護や介護にかかる資格の取得状況 | 16. その他(具体的に:) |
| 8. 母国の看護や介護にかかる経験 | |
| 9. コミュニケーション能力 | 17. 特になし(他の在留資格と同じ) |

問 14 貴法人で、特定技能外国人に対してのみ実施している取組は何ですか。日本人職員、他の在留資格の外国人介護職員にも同様に実施しているものは除いてご回答ください。

(○はいくつでも)

1. 貴法人のキャリアパスに関する説明会・研修会等の開催
2. 上司・管理者とのキャリア面談・相談等
3. プリセプター、エルダー制度、メンター制度の導入
4. 日本語能力向上のための研修等の開催
5. 介護知識・技能向上のための研修等の開催（制度上の研修を除く）
6. 外部で実施される研修等の受講料の助成
7. テキストや教材の提供あるいは費用助成
8. 業務の理解度や介護技術の習得状況等の把握
9. その他（具体的に： ）
10. 特定技能外国人に対してのみ実施している取組はない

問 15 介護福祉士国家資格取得のための支援についてお尋ねします。

(1) 貴法人では、特定技能外国人が介護福祉士国家資格を取得するための支援を実施していますか。(○は1つ)

1. 実施している（日本人職員や他の在留資格の外国人介護職員と一緒にする場合も含む）
2. 実施していない

(2) 上記(1)で選択肢1（実施している）を回答した方にお尋ねします。支援を実施するにあたり、国や自治体の補助を活用しましたか。(○は1つ)

1. 活用した
2. 活用していない

(3) 上記(1)で選択肢1（実施している）を回答した方にお尋ねします。どのような支援を実施していますか。(○はいくつでも)

1. 国家試験対策の日本語の研修等の開催
2. 国家試験対策の介護知識・技能の研修等の開催
3. 国家試験対策の模擬試験の実施
4. 介護職員初任者研修や介護福祉士実務者研修の開催
5. 国家試験の受験料の助成
6. 外部で実施されるセミナーや模擬試験の受講料の助成
7. 国家試験対策のテキストや教材の提供あるいは費用助成
8. 介護職員初任者研修や介護福祉士実務者研修の受講料の助成
9. 学習時間を確保するための業務時間の調整・配慮
10. その他（具体的に：

(4) 上記 (3) で 選択肢 1 (国家試験対策の日本語の研修等の開催)、2 (国家試験対策の介護知識・技能の研修等の開催) を回答した方にお尋ねします。どのような方法で、研修等の内容・カリキュラムを決めましたか。(○はいくつでも)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. EPA 介護福祉士候補者や留学生アルバイトへの支援の経験を参考にした |
| 2. 他の医療・介護事業者の取組を参考にした |
| 3. 日本語学校・介護福祉士養成施設の助言を得た |
| 4. 自治体や関係機関の取組に参加した、あるいは助言を得た |
| 5. 書籍やインターネットの情報を参考にした |
| 6. その他 (具体的に：) |

5. 特定技能外国人等の受入に係る今後の方針をお尋ねします

問 16 外国人介護人材 (特定技能以外の在留資格も含む) の受入に関する貴法人の今後 3 年間の方針をお答えください。(○は 1 つ)

- | | |
|---------|-------------|
| 1. 拡大 | 3. 縮小 |
| 2. 現状維持 | 4. わからない・未定 |

問 17 特定技能外国人の受入に関する貴法人の今後 3 年間の方針をお答えください。(○は 1 つ)

- | | |
|---------|-------------|
| 1. 拡大 | 3. 縮小 |
| 2. 現状維持 | 4. わからない・未定 |

問 18 介護分野の特定技能外国人受入れについて、アフターコロナを見据えて、これまでの業務方針の変更を検討していることはありますか。

- | |
|-------|
| 1. ある |
| 2. ない |

→ 問 18-1 問 18 で、選択肢 1 (ある) を回答した方にお尋ねします。これまでの業務方針の変更を検討しているのはどのようなことですか。(○はいくつでも)

- | |
|----------------------------|
| 1. 海外からの特定技能外国人受入れの強化 |
| 2. 受入れ対象国の見直し |
| 3. 送出国の選定及び取引内容の見直し |
| 4. 国内での特定技能外国人採用の強化 |
| 5. 特定技能外国人の採用基準の見直し |
| 6. 特定技能外国人に対する教育・研修のさらなる充実 |
| 7. 支援における ICT 化のより積極的な推進 |
| 8. その他 (具体的に：) |

6. 特定技能外国人の受入れに係る課題や要望についてお尋ねします

問 19 介護分野に限らず、特定技能制度全体の課題は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|---------------------------------|
| 1. 手続きが煩雑 | 5. 制度の周知が不十分 |
| 2. 日本での就労を希望する者が減少している | 6. 制度の運用状況や手続きに関する情報が少ない |
| 3. 入国の目途がたたない | 7. 家族の呼び寄せができない |
| 4. 入国時の手続きに時間がかかる | 8. その他（具体的に： ） |
| | 9. 特になし |

問 20 特定技能外国人の受入に係る介護分野での特定技能外国人の受入に係る課題は
何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1. 介護分野での就労希望者が減少している | 8. 介護福祉士国家試験取得のための支援策が少ない |
| 2. 他の在留資格も含めた制度が複雑 | 9. 転職に関する不安がある |
| 3. 登録支援機関の費用が高い | 10. 介護分野の運用状況や手続きに関する情報が少ない |
| 4. 受入れに係る費用が高い | 11. 介護分野の先進事例に関する情報が少ない |
| 5. 受入れに係る費用が分かりにくい | 12. その他
(具体的に：) |
| 6. 介護の日本語を学ぶための支援策が少ない | 13. 特になし |
| 7. 介護の日本語を理解していない特定技能外国人が多い | |

問 21 その他、特定技能外国人の受入れについてのご意見がありましたら、自由にご記入ください。

--

～ご回答ありがとうございました～

[情報の取扱いについて](#)[TOP](#) > [介護分野に係る特定技能外国人受入れの実態に関するアンケート調査（事業所調査票）](#)

介護分野に係る特定技能外国人受入れの実態に関するアンケート調査（事業所調査票）

2021年12月11日

※本調査票は、令和3年9月1日時点で、ご所属の法人が介護分野における特定技能協議会に加盟している事業所にお送りしております。

※本調査票が届いた時点で、当該特定技能外国人の離職等の理由により、貴事業所・施設に在籍している特定技能外国人が「0（ゼロ）人」の場合はご回答不要です。

※特に注意書きのない限り、令和3年10月1日時点の状況についてお答えください。

- ・最新のOSおよびブラウザ（Microsoft Edge、Chrome、Firefox、Safari等）をご使用ください。最新ではない場合、正常に送信できない場合があります。予めご了承ください。
- ・この調査票フォームは途中で一時保存することはできませんのでご注意ください。（中断終了すると入力データは消去されます。）

※この アンケートは、**11月30日（火曜日）までに**、ご回答ください。

はじめに、貴事業所・施設のご連絡先をご記入ください

氏名又は名称 *		(自動入力)
電話番号 *		※ハイフン付き半角数字で入力ください。（例：012-3456-7890）
メールアドレス *		※半角英数字で入力ください。（例：abc@def.com）

1. 貴事業所・施設の概要についてお尋ねします

Q1 貴事業所・施設の種類、定員・病床数についてお尋ねします。

※貴事業所・施設の種類については「特定技能外国人」が就労する施設として所属される主となる種類を1つ選択してください。

貴事業所・施設の種類 *	☐ 01.通所介護 ☐ 02.介護老人福祉施設（地域密着型を含む） ☐ 03.小規模多機能型居宅介護 ☐ 04.認知症対応型共同生活介護 ☐ 05.老人保健施設 ☐ 06.特定施設入居者生活介護 ☐ 07.グループホーム（共同生活援助） ☐ 08.障害者支援施設 ☐ 09.病院・診療所 ☐ 10.その他
定員・病床数 *	人/床

Q2 貴事業所・施設の介護職員数（実人数）についてお尋ねします。

介護職員数（実人数）＊		人 ※ 契約社員、嘱託、パート・アルバイトも含めてお答えください。派遣は除いてください。
	うち外国人介護職員数（実人数）	人 ※ 下記1～7の合計数が自動計算で表示されます（入力不要）
	1.特定技能外国人＊	人
	2.EPA介護福祉士＊	人
	3.EPA介護福祉士候補者＊	人
	4.技能実習生＊	人
	5.在留資格「介護」＊	人
	6.身分系の在留資格＊ （例）日本人の配偶者、永住者等	人
	7.留学生アルバイト＊	人

※該当者がいない場合は「0（ゼロ）」をご記入ください。

Q3 令和3年度で介護職員処遇改善加算（Ⅰ）～（Ⅴ）、介護職員等特定処遇改善加算（Ⅰ）（Ⅱ）を算定していますか。（複数回答可）

☐ 01. 介護職員処遇改善加算（Ⅰ）☐ 02. 介護職員処遇改善加算（Ⅱ）☐ 03. 介護職員処遇改善加算（Ⅲ）☐ 04. 介護職員処遇改善加算（Ⅳ）☐ 05. 介護職員処遇改善加算（Ⅴ）☐ 06. 介護職員等特定処遇改善加算（Ⅰ）☐ 07. 介護職員等特定処遇改善加算（Ⅱ）☐ 08. 算定していない☐ 09. 介護保険サービス施設・事業所ではない

Q4 令和3年度で福祉・介護職員処遇改善加算（Ⅰ）～（Ⅲ）、福祉・介護職員等特定処遇改善加算（Ⅰ）（Ⅱ）を算定していますか。（複数回答可）

☐ 01. 福祉・介護職員処遇改善加算（Ⅰ）☐ 02. 福祉・介護職員処遇改善加算（Ⅱ）☐ 03. 福祉・介護職員処遇改善加算（Ⅲ）☐ 04. 福祉・介護職員等特定処遇改善加算（Ⅰ）☐ 05. 福祉・介護職員等特定処遇改善加算（Ⅱ）☐ 06. 算定していない☐ 07. 障害福祉サービス施設・事業所ではない

Q5 貴事業所・施設で受け入れているすべての特定技能外国人の就労状況についてお伺いします。

※以下より、現在就労中の特定技能外国人一人ひとりに対して、事業者ご担当者にお答えいただく調査票ですので、よろしくお願いいたします。
※この調査票フォームは途中で一時保存することはできません。

令和3年10月1日時点で貴事業所・施設で受け入れている特定技能外国人数	人 ※ 上記でお答えいただいた人数が自動入力されています。（入力不要）
-------------------------------------	--

1. プロフィール	
出身国	☐ 01. ベトナム ☐ 02. インドネシア ☐ 03. フィリピン ☐ 04. 中国 ☐ 05. ミャンマー ☐ 06. ネパール ☐ 07. カンボジア ☐ 08. タイ ☐ 09. モンゴル ☐ 10. スリランカ ☐ 11. パングラデシュ ☐ 12. ウズベキスタン ☐ 13. パキスタン ☐ 14. インド ☐ 15. その他（具体的に）：
貴事業所・施設での就労開始年月	西暦 年 月 ※特定技能としてでなく、貴事業所・施設で働き始めた年月をお答えください。
「特定技能」の取得方法	☐ 01. 技能実習（介護）からの在留資格変更者 ☐ 02. 技能実習（介護以外）からの在留資格変更者 ☐ 03. 特定活動(EPA)からの在留資格変更者 ☐ 04. 国内試験合格者（01、02、03以外） ☐ 05. 海外試験合格者（01、02、03以外）
「特定技能」取得前の日本での就労経験	☐ 01. 貴事業所・施設での就労経験あり ☐ 02. 貴事業所・施設以外の介護事業所での就労経験あり ☐ 03. 介護事業所以外での就労経験あり ☐ 04. 就労経験なし
母国での就労経験	☐ 01. 看護や介護の就労経験あり ☐ 02. 看護や介護以外の就労経験あり ☐ 03. 就労経験なし
現在の日本語能力	☐ 01. N 1 相当 ☐ 02. N 2 相当 ☐ 03. N 3 相当 ☐ 04. N 4 相当 ☐ 05. N 5 相当

2. 能力・スキル等	
夜勤業務	☐ 01. ひとりで対応することができ、実際に夜勤業務を行っている ☐ 02. 日本人職員が付き添って指導すれば対応することができ、実際に夜勤業務を行っている ☐ 03. 対応することはできるが、実際には夜勤業務を行わせていない ☐ 04. 対応することができない ☐ 05. 夜勤業務がない
引継ぎ・申し送りの理解	☐ 01. 問題なく理解し、行動することができている ☐ 02. ゆっくり指示したり、繰り返したり、平易な言葉で言い換えたりすれば、理解し、行動することができる ☐ 03. ゆっくり指示したり、繰り返したり、平易な言葉に言い換えたりしても、ほとんど理解できない
介護記録等、業務上の文書を読む能力	☐ 01. 専門用語も含めて、記録の内容がわかる ☐ 02. 漢字や専門用語など、わからないものも少しあるが、概ね記録の内容はわかる ☐ 03. ひらがな、カタカナ、簡単な漢字は読めるが、記録の内容はあまりわからない ☐ 04. 記録の内容はほとんどわからない
介護記録等、業務上の文書を書く能力	☐ 01. 専門用語も含めて、記録を作成することができる ☐ 02. 漢字や専門用語など、わからないものも少しあるが、概ね記録を作成することができる ☐ 03. ひらがな、カタカナ、簡単な漢字は書けるが、記録の作成はあまりできない ☐ 04. 記録の作成はほとんどできない
現在の直接介助のスキル	☐ 01. ひとりで対応することができる ☐ 02. ほぼひとりで業務に対応することができるが、場合によってはフォローが必要 ☐ 03. ひとりで行うことができる業務もあるが、多くの場合ではフォローが必要 ☐ 04. ひとりで業務をこなすことは難しく、他の職員の付き添いが必要

3. 個別の業務についての評価	
生活援助（生活援助：掃除、洗濯、ベッドメイク、衣類の整理、配下膳など）	☐ 01. よくできている ☐ 02. まあできている ☐ 03. どちらともいえない ☐ 04. あまりできていない ☐ 05. 全くできていない ☐ 06. 実施していない
身体介護（身体介護：清拭・入浴、身体整容、体位変換、移動・移乗介助、食事介助、排せつ介助など）	☐ 01. よくできている ☐ 02. まあできている ☐ 03. どちらともいえない ☐ 04. あまりできていない ☐ 05. 全くできていない ☐ 06. 実施していない
認知症ケア	☐ 01. よくできている ☐ 02. まあできている ☐ 03. どちらともいえない ☐ 04. あまりできていない ☐ 05. 全くできていない ☐ 06. 実施していない
医療的ケア（喀痰吸引、経管栄養）	☐ 01. よくできている ☐ 02. まあできている ☐ 03. どちらともいえない ☐ 04. あまりできていない ☐ 05. 全くできていない ☐ 06. 実施していない
終末期ケア	☐ 01. よくできている ☐ 02. まあできている ☐ 03. どちらともいえない ☐ 04. あまりできていない ☐ 05. 全くできていない ☐ 06. 実施していない
介護計画の作成・見直し	☐ 01. よくできている ☐ 02. まあできている ☐ 03. どちらともいえない ☐ 04. あまりできていない ☐ 05. 全くできていない ☐ 06. 実施していない
ケース会議やカンファレンスでの発言	☐ 01. よくできている ☐ 02. まあできている ☐ 03. どちらともいえない ☐ 04. あまりできていない ☐ 05. 全くできていない ☐ 06. 実施していない
レクリエーションの運営や進行	☐ 01. よくできている ☐ 02. まあできている ☐ 03. どちらともいえない ☐ 04. あまりできていない ☐ 05. 全くできていない ☐ 06. 実施していない

☐ 回答内容を確認しました。

上記内容で回答する

本調査に関するお問い合わせ先

公益社団法人国際厚生事業団 特定技能外国人調査事務局

E-mail : fcw-chosa@jicwels.or.jp 電話 : 03-6257-1915（10:00～17:00）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、在宅勤務を行っております。お問い合わせにつきましては、なるべくE-mailにてお願い申し上げます。



情報の取扱いについて

TOP > 「特定技能」のビザで介護のお仕事をしている みなさんへ

「特定技能」のビザで介護のお仕事をしている みなさんへ

「特定技能」のビザで介護のお仕事をしている みなさんへ

このアンケートは、日本の介護現場で、外国人のみなさんが、もっと働きやすくなるために、私たち国際厚生事業団（JICWELS）と、日本の厚生労働省（政府）が行います。

みなさんの、日本の介護施設・事業所での様子や、これからのことについて教えてください。みなさんが答えたアンケートの結果は、厚生労働省の大切な情報となります。ご協力をお願いします。

◆おねがい◆

- このアンケートは、日本で「特定技能」のビザで介護の仕事をしている人が答えてください。他のビザの人は答える必要はありません。
- 職場で、このアンケートをもらった本人が答えてください。
- このアンケートは、**11月30日（火曜日）まで**に、答えてください。
- このアンケートに答えるとき、わからないことがあったら、下にある連絡先に連絡をしてください。

国際厚生事業団（JICWELS） 外国人介護人材支援部

TEL：03-6257-1915（受付時間：平日（土日・祝日以外）10:00-17:00）

E-mail：fcw-chosa@jicwels.or.jp

※お電話は、日本語のみです。日本語じゃない質問はメールをお願いします。

<情報のとりあつかい について>

このアンケートでみなさんが答えた内容は、厚生労働省とJICWELSの人だけがみます。他の人は見ることはできません。データだけ、安全な人に見せますが、みなさんの情報を守ります。

1.あなたの ことについて 答えて ください

Q1 性別を教えてください。

☐ 01.男性 ☐ 02.女性 ☐ 03.そのほか

Q2 どの国・地域から来ましたか。

☐ 01.ベトナム ☐ 02.インドネシア ☐ 03.フィリピン ☐ 04.中国 ☐ 05.ミャンマー ☐ 06.ネパール ☐ 07.カンボジア ☐ 08.タイ ☐ 09.モンゴル ☐ 10.スリランカ
☐ 11.バングラデシュ ☐ 12.ウズベキスタン ☐ 13.パキスタン ☐ 14.インド ☐ 15.そのほか：

Q3 今、何歳ですか（ねんれいを書いてください）。

 歳

Q4-1 これまでの合計で日本に、どのくらい住んでいますか。

 年 か月

Q4-2 今の職場で、どのくらい働いていますか。

 年 か月

Q5「特定技能」のビザを どうやって 取りましたか。

- ☐ 01.日本で 特定技能のテストを うけて 合格（ごうかく）した ☐ 02.日本じゃない 国・地域で 特定技能のテストを うけて 合格した ☐ 03.特定技能のテストはうけないで、ビザをかえた

SQ5-1 どうしてビザを^か変えましたか。

- ☐ 01.日本語を もっと 学びたいから ☐ 02.日本の 介護を もっと 学びたいから ☐ 03.日本の 介護福祉士の 国家資格（こっかしかく）を 取りたいから ☐ 04.日本で 長く 住みたいから
☐ 05.給料（きゅうりょう）が 高くなるから ☐ 06.できる仕事がふえるから ☐ 07.働く場所(会社・しせつ)を変えたかったから ☐ 08.家族にもっとお金を送りたいから、家族のため
☐ 09.職場のせんぱいや なかま にすすめられたから ☐ 10.国の 家族、友だちなどに すすめられたから ☐ 11.日本に いる 友だちなどに すすめられたから
☐ 12.そのほか：

Q6「特定技能」のビザを取る前は何をしていましたか。

- ☐ 01.日本で EPA介護福祉士候補者（かいごふくししこうほしゃ）として 働いていた ☐ 02.日本で 技能実習生（ぎのうじっしゅうせい）として 介護の仕事の実習（じっしゅう）を していた
☐ 03.日本で 技能実習生として 介護じゃない仕事の実習を していた ☐ 04.日本で そのほかの 仕事を していた ☐ 05.日本の 日本語学校で 勉強していた
☐ 06.日本の 専門学校や 短大・大学で 勉強していた（日本語学校じゃない学校） ☐ 07.出身国(自分の国)にいた ☐ 08.日本、出身国じゃない国にいた
☐ 09.そのほか：

Q7 EPA介護福祉士候補者、または技能実習生^{かいごふくししこうほしゃ}だった時と同じ会社^{ぎのうじっしゅうせい}（職場）で働いていますか。

- ☐ 01.同じ会社（職場）で働いている ☐ 02.ちがう会社（職場）で働いている（会社・職場を変えた）

SQ7-1 特定技能のビザを取った後、仕事の^と内容は^{ないよう}変わりましたか。

- ☐ 01.変わった ☐ 02.変わらない

SQ7-2 どのように^か変わりましたか（☑はいくつでも）。

- ☐ 01.前とは、ちがう仕事を担当（たんとう）するようになった ☐ 02.担当する仕事の種類（しゅるい）が増えた ☐ 03.担当する仕事の種類がへった
☐ 04.こうはいを教えるようになった ☐ 05.そのほか：

SQ7-3 どうして会社や職場^{しよくば}を変えましたか。

- ☐ 01.日本語を もっと 学びたいから ☐ 02.日本の 介護を もっと 学びたいから ☐ 03.日本の 介護福祉士の 国家資格（こっかしかく）を 取りたいから
☐ 04.給料（きゅうりょう）が 高くなるから ☐ 05.できる仕事がふえるから ☐ 06.家族に もっとお金を送りたいから、家族のため ☐ 07.職場のせんぱいや なかま にすすめられたから
☐ 08.国の 家族、友だちなどに すすめられたから ☐ 09.日本に いる 家族、友だちなどに すすめられたから ☐ 10.監理団体（かんりだんたい）などに すすめられたから
☐ 11.そのほか：

Q8 特定技能のビザを取った後、仕事する時間^とは^か変わりましたか。

- ☐ 01.長くなった ☐ 02.変わらない ☐ 03.短くなった

Q9 特定技能のビザを取った後、給料^と・手当^{きゅうりょう}などは^{てあて}変わりましたか。

- ☐ 01.よくなった ☐ 02.変わらない ☐ 03.わるくなった

Q10 日本に 来るまえ、自分の 国・地域^{ちいき}での あなたの ことを 教えて ください。

1.さいごに 行った 学校はどこですか。

- ☐ 01.高等学校（高校） ☐ 02.専門学校 ☐ 03.短期大学 ☐ 04.大学・大学院

2.看護^{かんご}や介護の 勉強^{しかく}を したり 資格^{しかく}を とるための 学校に 通ったり したことはありますか。

- ☐ 01.通ったことがある ☐ 02.通ったことはない

3.看護や介護の 資格^{しかく}を 取りましたか。

- ☐ 01.どちらも 取った ☐ 02.看護の 資格 だけ 取った ☐ 03.介護の 資格だけ 取った ☐ 04.どちらも 取っていない

4.自分の国で何か仕事をしたことがありますか。

- ☐ 01.ある ☐ 02.ない

働いた ことがある 人は、仕事の 内 容^{ないよう}も 答えて ください（☑はいくつでも）。

- ☐ 01.看護や介護の 仕事 ☐ 02.ほかの 仕事

Q11 日本に 来るまえ、日本の 介護について 学びましたか。

- ☐ 01.学んだ ☐ 02.学んでいない

SQ11-1 どのように 日本の 介護を 学びましたか (回はいくつでも)。

- ☐ 01.自分で 勉強した ☐ 02.学校などで、日本人の先生に、教えてもらった ☐ 03.学校などで、オンラインを つかって、日本に いる 先生から 教えてもらった
☐ 04.学校などで、日本人じゃない 先生に 教えてもらった ☐ 05.その他:

Q12 どうして日本で、介護の 仕事を したいと 思いましたか (回はいくつでも)。

- ☐ 01.日本語を 学びたいから ☐ 02.日本の 介護を 学びたいから ☐ 03.日本の 介護福祉士の 国家資格 (こっかしかく) を 取りたいから ☐ 04.給料 (きゅうりょう) が 高いから
☐ 05.家族に お金を送りたいから、家族の ため ☐ 06.日本の 文化やアニメ・マンガなどが 好きだから ☐ 07.国の 家族、友だちなどに すすめられたから
☐ 08.日本に いる 家族、友だちなどに すすめられたから ☐ 09.自分のレベルやお金などの 条件 (じょうけん) が 一番 あっていたから
☐ 10.自分の 住んでいる国との 距離 (きょり) が 近いから ☐ 11.コロナのせいで自分の国に帰ることができないから ☐ 12.コロナのせいで今までの仕事が無くなったから
☐ 13.仕事が かならず あるから ☐ 14.その他:

Q13 日本に 来るための お金を どうやって 準備 (じゅんび) しましたか (金 額 (きんがく) が いちばん 高い 方法を 1つだけ回)。

- ☐ 01.家族や 自分で 準備 (じゅんび) を した (お金は 借りていない) ☐ 02.親せきや 知りあいから お金を 借りた ☐ 03.自分の 国の 送りだしきかんや 学校から お金を 借りた
☐ 04.日本の 学校や しせつ・会社から お金を 借りた ☐ 05.自分の国の 団体 (だんたい) から お金を もらった ☐ 06.日本の 団体から お金を もらった
☐ 07.その他:

SQ13-1 日本に 来るために お金を いくら準備 (じゅんび) しましたか。 (金 額 (きんがく) を 書いてください)。

万円くらい

2.日本語や 介護の 勉強の ことについて 答えて ください

Q14 現在 (げんざい) の日本語能力 (のうりょく) の レベルを 教えてください。

- ☐ 01.N 1 程度 ☐ 02.N 2 程度 ☐ 03.N 3 程度 ☐ 04.N 4 程度 ☐ 05.N 5 程度 ☐ 06.わからない

Q15 日本語の勉強について、今の 職場 (しょくば) から、サポート (さぽーと) を受けていますか。

- ☐ 01.サポート を 受けている ☐ 02.サポート を 受けたいと 思うが、実際 (じっさい) には 受けることができていない ☐ 03.サポート を 受けたいと 思わないし、実際に 受けていない

SQ15-1 職場の人 (ひと) にどんなことを してもらっていますか (回はいくつでも)。

- ☐ 01.職場で、日本人の職員 (しょくいん) に 教えてもらっている ☐ 02.職場で、日本語の先生に 教えてもらっている ☐ 03.職場から、日本語学校などを しょうかいしてもらっている
☐ 04.職場から テキストを もらった ☐ 05.職場で、勉強の 目標 (もくひょう) や 計画 (けいかく) を きめてもらった ☐ 06.仕事の 時間に、勉強の 時間がある
☐ 07.その他:

Q16 つぎの 場面 (ばめん) の 日本語は どのくらい わかりますか。

1.いつもの 生活 (せいかつ) で 話すとき

- ☐ 01.よくわかる ☐ 02.だいたいわかる ☐ 03.あまりわからない ☐ 04.まったくわからない

2.職場での 引きつき、もうしおくり

- ☐ 01.よくわかる ☐ 02.だいたいわかる ☐ 03.あまりわからない ☐ 04.まったくわからない ☐ 05.やっていない

3.介護きろくを 読むとき

- ☐ 01.よくわかる ☐ 02.だいたいわかる ☐ 03.あまりわからない ☐ 04.まったくわからない ☐ 05.やっていない

4.介護きろくを 書くとき

- ☐ 01.よくわかる ☐ 02.だいたいわかる ☐ 03.あまりわからない ☐ 04.まったくわからない ☐ 05.やっていない

5.介護福祉士 (こっかしけん) 国家試験 (こっかしけん) の 勉強 (べんきょう) を するとき

- ☐ 01.よくわかる ☐ 02.だいたいわかる ☐ 03.あまりわからない ☐ 04.まったくわからない ☐ 05.やっていない

Q17 介護の勉強について、働いている介護施設・事業所から、サポートを受けていますか。

- ☐ 01.サポートを受けている ☐ 02.サポートを受けたいと思うが、実際（じっさい）には受けることができていない ☐ 03.サポートを受けたいと思わないし、実際に受けていない

SQ17-1 職場の人にどんなことをしてもらっていますか（☑はいくつでも）。

- ☐ 01.職場からテキストをもらった ☐ 02.職場で、日本人職員（しょくいん）に教えてもらっている ☐ 03.職場で、同じ国の人・外国人の職員に教えてもらっている
☐ 04.OJT（実際の職場での仕事）で教えてもらっている ☐ 05.介護福祉士国家試験（こっかしけん）の勉強を教えてもらっている ☐ 06.仕事の時間に、勉強の時間がある
☐ 07.その他：

Q18 日本の介護福祉士国家資格について知っていますか。

- ☐ 01.くわしく知っている ☐ 02.聞いたことがある ☐ 03.知らない

Q19 これから、日本の介護福祉士国家試験を受けたいですか。

- ☐ 01.受けたい ☐ 02.受けたいが、受けることはむずかしそう ☐ 03.受けたくない ☐ 04.わからない

SQ19-1 どうして日本の介護福祉士国家試験を受けたいですか（☑はいくつでも）。

- ☐ 01.専門職（せんもんしょく）として ちしき・技術（ぎじゅつ）をもっていると みとめられるから
☐ 02.資格（しかく）を取ることで、ほかの職員（しょくいん）を教えることができるから ☐ 03.職場で資格をとることをすすめられるから
☐ 04.社会的な評価（ひょうか）をもらえるから ☐ 05.会社や職場を変えやすくなるから ☐ 06.資格手当（しかくてあて）がもらえるから ☐ 07.日本で長く働きたいから

SQ19-2 日本の介護福祉士国家試験を受けたいが、どうして受けることは難しいと思いますか（☑はいくつでも）。

- ☐ 01.外国人には合格（ごうかく）することが難しいから ☐ 02.日本語が難しいから ☐ 03.勉強する時間がないから ☐ 04.受験資格（じゅけんしかく）があるかわからないから
☐ 05.その他：

3.仕事の ことについて 答えて ください

Q20 介護の 仕事の 満足度を 教えてください。

- ☐ 01.満足 ☐ 02.少し満足 ☐ 03.少し不満 ☐ 04.不満

Q21 今、あなたが 働いている 施設・事業所の 満足度を 教えてください。

1. 給料

- ☐ 01.満足 ☐ 02.少し満足 ☐ 03.少し不満 ☐ 04.不満

2.休日を取りやすい、休みやすい

- ☐ 01.満足 ☐ 02.少し満足 ☐ 03.少し不満 ☐ 04.不満

3.働く時間

- ☐ 01.満足 ☐ 02.少し満足 ☐ 03.少し不満 ☐ 04.不満

4.利用者との関係

- ☐ 01.満足 ☐ 02.少し満足 ☐ 03.少し不満 ☐ 04.不満

5.職場の職員との関係

- ☐ 01.満足 ☐ 02.少し満足 ☐ 03.少し不満 ☐ 04.不満

6.日本語の勉強へのサポート

- ☐ 01.満足 ☐ 02.少し満足 ☐ 03.少し不満 ☐ 04.不満 ☐ 05.受けていない・機会がない

7.介護の技術・能力を高める けんしゅう・サポート

- ☐ 01.満足 ☐ 02.少し満足 ☐ 03.少し不満 ☐ 04.不満 ☐ 05.受けていない・機会がない

しょうらい
8. 将来のキャリアについてのせつめい・サポート

- ☐ 01. 満足 ☐ 02. 少し満足 ☐ 03. 少し不満 ☐ 04. 不満 ☐ 05. 受けていない・機会がない

9. 家族へのサポート

- ☐ 01. 満足 ☐ 02. 少し満足 ☐ 03. 少し不満 ☐ 04. 不満 ☐ 05. 受けていない・機会がない

こうりゅう きかい
10. まわりの日本人と交流する機会

- ☐ 01. 満足 ☐ 02. 少し満足 ☐ 03. 少し不満 ☐ 04. 不満 ☐ 05. 受けていない・機会がない

11. 自分の国や文化を教える機会

- ☐ 01. 満足 ☐ 02. 少し満足 ☐ 03. 少し不満 ☐ 04. 不満 ☐ 05. 受けていない・機会がない

きゅうりょう ぜいきん きんがく
Q22 今の1ヵ月あたりの給料(税金が引かれる前の金額)を教えてください。

- ☐ 01. ～10万円 ☐ 02. 10万円～15万円 ☐ 03. 15万円～20万円 ☐ 04. 20万円～25万円 ☐ 05. 25万円～30万円 ☐ 06. 30万円～ ☐ 07. 答えたくない

Q23 家族などへお金を送ることについて教えてください。

1. お金を送っていますか

- ☐ 01. 送っている ☐ 02. 送っていない

2. 1ヵ月あたりいくらお金を送っていますか

- ☐ 01. ～5万円 ☐ 02. 5万円～10万円 ☐ 03. 10万円～15万円 ☐ 04. 15万円～

3. だれに お金を送っていますか (☑はいくつでも)

- ☐ 01. 親、親せき ☐ 02. 自分の夫・妻、子ども ☐ 03. お金を かりた ところ ☐ 04. その他:

4. いつもの生活について 教えてください

こま
Q24 最近1年間、日本で困ったことがありましたか。

- ☐ 01. あった ☐ 02. なかった

こま
SQ24-1 どんなことに困りましたか (☑はいくつでも)。

- ☐ 01. お金 ☐ 02. 仕事 ☐ 03. 日本語の勉強 ☐ 04. 介護の勉強 ☐ 05. 住むところ ☐ 06. けが・病気 ☐ 07. 感染症対策 ☐ 08. さいがい (じしんや 台風)
☐ 09. 家族から帰ってきてほしいとおねがいされた ☐ 10. 日本人との関係 (かんけい) ☐ 11. 日本人から、嫌 (いや) なことをされる、いじめられる ☐ 12. 宗教 (しゅうきょう)
☐ 13. 食べ物 ☐ 14. 年金など日本の社会制度 (しゃかいせいど) ☐ 15. 市役所 (しやくしょ) などでの手続き (てつづき) ☐ 16. その他:

こま そうだん
Q25 日本で困ったときに、相談できる人はいますか。

- ☐ 01. いる ☐ 02. いない

そうだん
SQ25-1 だれ (どこ) に相談しますか (☑はいくつでも)。

- ☐ 01. 市役所 (しやくしょ) など ☐ 02. 登録支援機関 (とうろくしえんきかん) ☐ 03. 国際交流協会 (こくさいこうりゅうきょうかい)
☐ 04. 大使館 (たいしかん)・領事館 (りょうじかん) ☐ 05. 職場の日本人職員 (しよくいん)、せんぱい、なかま ☐ 06. 職場の自分の国の人・外国人の職員、せんぱい、なかま
☐ 07. 前の職場のせんぱい、なかま ☐ 08. 日本人の友だち・知りあい ☐ 09. 自分の国の人・外国人の友だち・知りあい ☐ 10. 日本語の先生 ☐ 11. SNS (Twitter、facebookなど)
☐ 12. 教会・寺院・モスク ☐ 13. JICWELSの相談窓口 (そうだんまどぐち) ☐ 14. その他: ☐ 15. 分からない

5. これからのことについて 教えてください

もくひょう
Q26 今から、5年間の目標はありますか (☑はいくつでも)。

- ☐ 01. 介護の技術 (ぎじゅつ) や能力 (のうりょく) を高めたい ☐ 02. 職場 (しょくば) で、こうはいの世話をしたい ☐ 03. 職場で、げんぱのリーダーになりたい
☐ 04. 職場のせつちょう・かんりしゃ になりたい ☐ 05. 介護の日本語を学びたい ☐ 06. 介護福祉士国家資格 (こっかしかく) を取りたい ☐ 07. お金を貯 (た) めたい
☐ 08. その他: ☐ 09. 特になし

Q27 今から、5年後には、どのように なりたいですか。

1.自分が 住む 場所について

☐ 01.日本 ☐ 02.自分の 国・地域 ☐ 03.その他

2.仕事について（回はいくつでも）

☐ 01.介護の ぎじゅつ や のうりよく を 高めたい ☐ 02. 職場で、こはいの 世話をしたい ☐ 03. 職場で、げんば の リーダーに なりたい
☐ 04. 職場の しせつちょう・かんりしゃ に なりたい ☐ 05. 介護の 会社・学校を 作りたい ☐ 06. 介護の 日本語を 教えたい ☐ 07. ほかの 仕事を したい

3.働くしせつ・じぎょうしょ について

☐ 01.今、働いている 職場で そのまま 働きたい ☐ 02.今、働いている 職場とは ほかの しせつで 働きたい

4.家族について（回はいくつでも）

☐ 01.自分の 国にいる 家族を よんで いっしょに 住みたい ☐ 02.自分の国で家族といっしょに生活したい ☐ 03.自分が 住む 国で 新しく 家族をつくりたい

☐ 04.その他：

～これで アンケート調査(ちょうさ)は 終わりです。ご協力(きょうりょく) ありがとうございました。～

☐ 答えた内容（ないよう）を確認（かくにん）しました。

この内容（ないよう）で答える

本調査に関するお問い合わせ先

公益社団法人国際厚生事業団 特定技能外国人調査事務局

E-mail : fcw-chosa@jicwels.or.jp 電話 : 03-6257-1915 (10:00～17:00)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、在宅勤務を行っております。お問い合わせにつきましては、なるべくE-mailにてお願い申し上げます。

介護分野に係る登録支援機関の実態に関する調査（一次調査票）

Q1 貴機関の出入国在留管理庁への登録番号、氏名又は名称

登録番号	2 桁 (選択)	登	一	6 桁入力
------	----------	---	---	-------

氏名又は名称	
--------	--

Q2 個人・法人の種類 (○は1つ)

1. 株式会社・有限会社	5. 特定非営利活動法人
2. 協同組合	6. 行政書士法人・司法書士法人・弁護士法人
3. 合同会社・合名会社	7. 個人
4. 社団法人・財団法人	8. その他（具体的に： ）

Q3 貴機関では、介護分野の特定技能外国人受入れに対応することができますか。(〇は1つ)

1. 対応できる → Q4 へ

2. 対応できない

→ アンケート調査はこちらで終わります。ご協力ありがとうございました。

Q4 貴機関では、これまでに介護分野の受入れ事業者と支援委託契約を締結した実績がありますか。(○は1つ)

1. ある 2. ない →アンケート調査はこちらで終わりです。ご協力ありがとうございました。

(注) 現時点で支援委託契約を締結している介護分野の受入れ事業者がない場合でも、過去に実績がある場合は「選択肢1」を選んでください。

～ご回答ありがとうございました。～

～Q4 で選択肢 1 を選んだ方には、後日、介護分野について具体的にお尋ねする
二次調査票をお送りします。引き続きご協力をお願いします。～

介護分野における特定技能外国人の受入れに関するアンケート調査

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より事業団の活動につきましては、ご理解、ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、当事業団では、厚生労働省補助事業である老人保健健康増進等事業により、標記のアンケート調査を実施することになりました。

本アンケート調査は、介護分野に係る特定技能外国人の受入れの実態等を把握することにより、今後の施策検討のための基礎資料を収集することを目的としております。

ご多用のところ恐れ入りますが、本アンケート調査の趣旨をご理解の上、ご協力頂けますようお願い申し上げます。

公益社団法人国際厚生事業団
外国人介護人材支援部

<ご回答について>

- ・本調査票（法人調査票）は、令和3年10月に実施した「介護分野における特定技能外国人の受入れに関する第1次アンケート調査」にご回答頂いた登録支援機関のうち、介護分野の受入れ事業者と支援委託契約を締結した実績のある登録支援機関にお送りしております。
- ・ご回答は、**特定技能外国人の受入れを担当している部署の方**にお願いします。
- ・ご回答済みの調査票は同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、お手数ではございますが、**令和3年11月26日（金）まで**に投函をお願いいたします。

<本調査に関するお問い合わせ先>

公益社団法人国際厚生事業団 特定技能外国人調査事務局

E-mail：fcw-chosa@jicwels.or.jp 電話：03-6257-1915（10:00～17:00）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、在宅勤務を行っております。

お問い合わせにつきましては、なるべく E-mail にてお願い申し上げます。

<情報の取扱いについて>

ご回答頂いた情報は、すべて統計的に処理し、個別のご回答内容が厚生労働省、当事業団以外に知られることはございません。また、データ処理について外部事業者に委託する場合は、適切な委託業者を選定してデータの安全管理が図られるよう、委託を受けた者に対して適切な監督を行います。

※本調査は、介護分野の受入れ事業者と支援委託契約を締結した実績のある登録支援機関を対象にしています。それ以外の登録支援機関の方はご回答不要です。
 ※特に注意書きのない限り、令和3年10月1日時点の状況についてお答えください。

はじめに、貴機関のご連絡先をご記入ください

氏名又は名称		
個人・法人の種類	1. 株式会社・有限会社 2. 協同組合 3. 合同会社・合名会社 4. 社団法人・財団法人	5. 特定非営利活動法人 6. 行政書士法人・司法書士法人・弁護士法人 7. 個人 8. その他（具体的に： ）
本店又は主たる事務所の所在地	(都・道・府・県)	
電話番号		
E-mail		

1. 貴機関の概要についてお尋ねします

問1 貴機関の職員数についてお尋ねします。

(1) 貴機関の職員数は何人ですか。(○は1つ)

1. 1～4 人	4. 20～29 人	7. 100～199 人
2. 5～9 人	5. 30～49 人	8. 200～299 人
3. 10～19 人	6. 50～99 人	9. 300 人以上

(注) 役員、契約職員、パート・アルバイト職員は含めてお答えください。派遣職員は除いてください。

(2) 貴機関の職員のうち、外国人職員数は何人ですか。(○は1つ)

1. 0 人（外国人職員はいない）	5. 20～29 人	8. 100～199 人
2. 1～4 人	6. 30～49 人	9. 200～299 人
3. 5～9 人	7. 50～99 人	10. 300 人以上
4. 10～19 人		

(注) 役員、契約職員・パート・アルバイト職員は含めてお答えください。派遣職員は除いてください。

(3) 上記(2)で選択肢2～10（1人以上）を回答した方にお尋ねします。外国人介護職員の出身国・地域はどちらですか。(○はいくつでも)

1. ベトナム	7. カンボジア	13. パキスタン
2. インドネシア	8. タイ	14. インド
3. フィリピン	9. モンゴル	15. その他
4. 中国	10. スリランカ	(具体的に：)
5. ミャンマー	11. バングラデシュ	
6. ネパール	12. ウズベキスタン	

問2 貴機関、あるいは貴機関の母体となる親法人・グループの種別は以下のどれに当てはまりますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|------------------------------|
| 1. 医療・介護事業者 | 4. 教育機関 |
| 2. 人材サービス事業者 | 5. 士業（弁護士・司法書士・社会保険労務士・行政書士） |
| 3. 事業協同組合 | 6. その他の法人 |
| (具体的に：) | |

問2-1 上記、問2で選択肢1（医療・介護事業者）を回答した方にお尋ねします。

貴法人・グループ以外の医療・介護事業者への特定技能外国人の受入れに対応していますか。

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 対応している |
| 2. 対応していない（自らの法人・グループへの受入れのみ対応している） |

問3 貴機関では、技能実習制度に係る監理団体業務を行っていますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|-----------|
| 1. 行っている（一般監理団体） | 3. 行っていない |
| 2. 行っている（特定監理団体） | |

問4 特定技能外国人の受入れについて、介護分野以外で支援委託契約を締結した実績のある分野についてお答えください。(○はいくつでも)

- | | | |
|----------------|------------|----------------|
| 1. ビルクリーニング | 6. 造船・船用工業 | 11. 漁業 |
| 2. 素形材産業 | 7. 自動車整備 | 12. 飲食料品製造業 |
| 3. 産業機械製造業 | 8. 航空 | 13. 外食業 |
| 4. 電気・電子情報関連産業 | 9. 宿泊 | 14. 介護以外の実績はない |
| 5. 建設 | 10. 農業 | |

問5 介護分野の特定技能外国人受入れについて、連携している国内の関係機関についてお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|---------------------------|
| 1. 自治体（都道府県） | 6. 介護福祉士養成施設 |
| 2. 自治体（市区町村） | 7. 日本語学校・介護福祉士養成施設以外の教育機関 |
| 3. 社会福祉協議会 | 8. 地域の国際交流団体・ボランティア団体 |
| 4. 介護・医療分野の業界団体 | 9. その他（具体的に：) |
| 5. 日本語学校 | 10. 特になし |

問5-1 上記、問5で選択肢1～9（「特になし」以外）を回答した方にお尋ねします。

連携している内容を具体的に下記記入ください。

--

2. 特定技能（介護分野）に関する支援実績・支援内容についてお尋ねします

問6 貴機関における特定技能（介護分野）の支援実績をお答えください。（数字を記入）

支援委託契約を締結している法人数	法人
支援している外国人数（来日前の内定者を含む）	人
ア）うち、技能実習（介護）からの在留資格変更者	人
イ）うち、技能実習（介護以外）からの在留資格変更者	人
イ）うち、特定活動（EPA）からの在留資格変更者	人
ウ）うち、上記以外の国内試験合格者	人
エ）うち、上記以外の海外試験合格者	人

問7 介護分野について、貴機関で対応している支援内容についてお答えください。また、その支援内容に対して介護分野の受入れ事業者から徴収している費用の平均的な金額もご記入ください。

※送出国によって費用が異なる場合は、最も受入れ人数が多い国・地域についてお答えください。

※送出国によって費用が異なる場合は、 <u>最も受入れ人数が多い国・地域</u> についてお答えください。		受入れ事業者から徴収している費用 (円／特定技能外国人1人当たり)		
↓法令に定める支援内容（○はいくつでも）		計	受入れ時 円	毎月払い 円
1. 事前ガイダンス		※内訳は可能であればご記入ください		
2. 出入国する際の送迎				
3. 住居確保・生活に必要な契約支援				
4. 生活オリエンテーション				
5. 公的手続き等への同行				
6. 日本語学習の機会の提供				
7. 相談・苦情への対応				
8. 日本人との交流促進				
9. 転職支援（人員整理等の場合）				
10. 定期的な面談・行政機関への通報				
↓上記以外（○はいくつでも）			円	円
11. 在留資格申請支援		※内訳は可能であればご記入ください		
12. 支援計画書作成支援				
13. 外国人材の紹介				
14. 介護知識・技能の学習の機会の提供				
15. 介護福祉士国家試験対策				
16. 外国人材の生活支援				
17. その他（具体的に：				

（注）個別の機関名が特定できる形で公表することはございませんので、ご協力をお願いします。

問 8 特定技能外国人の受入れについて介護事業者から徴収している費用

(問 7 で回答して頂いた費用) はどのように決めましたか。(〇はいくつでも)

1. 貴機関が行っている監理団体業務の費用を参考にした 2. 貴機関が行っているその他のサービス（監理団体業務以外）の費用を参考にした 3. 他の登録支援機関の費用を参考にした 4. 他の監理団体の費用を参考にした 5. 貴機関独自の基準を設定した 6. その他（具体的に：	)
--	---

問 9 問 7 で回答して頂いた支援内容のうち、貴機関のバックグラウンドやこれまでの知見等を活かすことにより、貴機関の強みとしている支援内容についてお答えください。

貴機関の強みとしている支援内容 (〇は3つまで)	具体的な支援内容
1. 事前ガイダンス 2. 出入国する際の送迎 3. 住居確保・生活に必要な契約支援 4. 生活オリエンテーション 5. 公的手続き等への同行 6. 日本語学習の機会の提供 7. 外国人からの相談・苦情への対応 8. 日本人との交流促進 9. 転職支援（人員整理等の場合） 10. 定期的な面談・行政機関への通報 11. 在留資格申請支援 12. 支援計画書作成支援 13. 外国人材の紹介 14. 介護知識・技能の学習の機会の提供 15. 介護福祉士国家試験対策 16. 外国人材の生活支援 17. 外国人材の職場への定着支援 18. 受入れ事業者からの相談・苦情への対応 19. その他	<強みとしている支援内容①>
	<強みとしている支援内容②>
	<強みとしている支援内容③>

問 10 新型コロナウイルス感染症の拡大は、特定技能（介護分野）に関する貴機関の業務にどのような影響がありましたか。（○はいくつでも）

1. 海外からの特定技能外国人受入に係る新規の支援依頼が減少した
2. 国内での特定技能外国人受入れ（採用）に係る新規の支援依頼が増加した
3. 既存の案件に係る支援内容が減少した
4. 介護分野の受入れ事業者からの特定技能外国人受入れ支援に関する相談が増加した
5. 介護分野の受入れ事業者からの特定技能外国人受入れ支援に関する相談が減少した
6. 介護分野での就労を希望する外国人材からの相談が増えた
7. 介護分野で就労する特定技能外国人からの離転職・帰国の相談が増えた
8. オンライン相談等に対応するための経費が増加した
9. 介護分野の受入れ事業者が国内人材の採用に注力するようになり、業界全体として登録支援機関の業務が減少した
10. その他（具体的に： _____）
11. 特に影響なし

3. 介護分野の特定技能外国人の送出国、送出機関についてお尋ねします

問 11 貴機関が、介護分野の特定技能外国人の受入れに取り組んでいる海外の国・地域はどちらですか。

(1) 最も受入れ人数が多い海外の国・地域（○は1つ）	1. フィリピン 2. カンボジア 3. ネパール 4. ミャンマー 5. モンゴル 6. スリランカ	7. インドネシア 8. ベトナム 9. バングラデシュ 10. ウズベキスタン 11. パキスタン 12. タイ	13. インド 14. その他（具体的に： _____） 15. 海外からの受入れには取り組んでいない（日本国内のみ）→問 12 へ
(2) それ以外の海外の国・地域（○はいくつでも）	1. フィリピン 2. カンボジア 3. ネパール 4. ミャンマー 5. モンゴル 6. スリランカ	7. インドネシア 8. ベトナム 9. バングラデシュ 10. ウズベキスタン 11. パキスタン 12. タイ	13. インド 14. その他（具体的に： _____）
(3)（上記（1）で選択肢 1～14 を選んだ方）その国を選んだ理由（○はいくつでも）	1. 技能実習生の受入れを支援した経験があるから 2. 技能実習生以外の外国人の受入れを支援した経験があるから 3. 当該国にこれまでの経験等を活かしたネットワークを有しているから 4. 当該国からの受入れを希望する介護事業者が多いから 5. 日本で働くことを希望する人材が多いから 6. 介護分野で働くことを希望する人材が多いから 7. 当該国の人材の国民性や習慣が日本の介護分野に合っているから 8. 当該国が人材の送出に積極的に取り組んでいるから 9. 当該国の送出に係る手続きが比較的容易であるから 10. その他（具体的に： _____）		

問 12 現在受入れに取り組んでいる国・地域以外（日本国内を含む）で、今後の受入れを検討している海外の国・地域はどこですか。（○はいくつでも）

(1) 今後の受入れを検討している国・地域（○はいくつでも）	1. フィリピン	7. インドネシア	13. インド
	2. カンボジア	8. ベトナム	14. その他
(2) その国を選んだ理由（○はいくつでも）	3. ネパール	9. バングラデシュ	(具体的に：)
	4. ミャンマー	10. ウズベキスタン	
	5. モンゴル	11. パキスタン	
	6. スリランカ	12. タイ	
	1. 技能実習生の受入れを支援した経験があるから		
	2. 技能実習生以外の外国人の受入れを支援した経験があるから		
	3. 当該国にこれまでの経験等を活かしたネットワークを有しているから		
	4. 当該国からの受入れを希望する介護事業者が多いから		
5. 日本で働くことを希望する人材が多いから			
6. 介護分野で働くことを希望する人材が多いから			
7. 当該国の人材の国民性や習慣が日本の介護分野に合っているから			
8. 当該国が人材の送出に積極的に取り組んでいるから			
9. 当該国の送出に係る手続きが比較的容易であるから			
10. その他（具体的に：)			

問 13 介護分野の特定技能外国人受入れに関する、海外の送出機関についてお尋ねします。

(1) 貴機関は、海外の送出機関と取引がありますか。

1. ある
2. ない（受入れ国において必ずしも送出し機関を通さなくてもよい）→問 14 へ
3. ない（海外からの受入れには取り組んでいない）→問 14 へ

(2) 上記 (1) で選択肢 1（ある）を回答した方にお尋ねします。貴機関と取引のある送出機関の名称と所在地（国名、都市名）をご記入ください。（文字を記入）

	名称	主たる事務所の所在地	
		国名	都市名
ア			
イ			
ウ			
エ			
オ			

（注）個別の機関名が特定できる形で公表することはありませんので、ご協力をお願いします。

(3) 上記(2)で回答した送出機関を選んだ理由はどのようなものですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--|---------|
| 1. 当該送出機関における人材募集・育成の方針に共感したから | → (4) へ |
| 2. 介護分野で日本に人材を送り出した実績があるから | |
| 3. 現地における日本語の教育・研修内容が充実しているから | → (5) へ |
| 4. 現地における介護知識・技能の教育・研修内容が充実しているから | → (6) へ |
| 5. 現地で教育機関を運営している、あるいは現地の教育機関と連携しているから | |
| 6. 日本人スタッフの常駐など、日本語でのコミュニケーションがとりやすいから | |
| 7. 費用が安いから | |
| 8. 他の登録支援機関、その他の関係機関等に紹介されたから | |
| 9. その他(具体的に: |) |

(4) 上記(3)で選択肢1(当該送出機関における人材募集・育成の方針に共感したから)を回答した方にお尋ねします。

現地における送出機関の人材募集・育成の方針はどのようなものですか。自由にご記入ください。(例: 他分野の技能実習経験者を積極的に集めるようにしている)

--

(5) 上記(3)で選択肢3(現地における日本語の教育・研修内容が充実しているから)を回答した方にお尋ねします。

現地における日本語教育・研修の内容はどのようなものですか。自由にご記入ください。

--

(6) 上記(3)で選択肢4(現地における介護知識・技能の教育・研修内容が充実しているから)を回答した方にお尋ねします。

現地における介護知識・技能の教育・研修はどのようなものですか。自由にご記入ください。

--

4. 介護分野の受入れ事業者のニーズについてお尋ねします

問 14 特定技能外国人の受入れに関する事業者のニーズについて、介護分野の事業者は、他の分野の事業者と比べてどのような特徴がありますか。(○はいくつでも)

1. 日本語能力を重視する傾向がある
2. 業務に関する知識・技能の学習・就労経験を重視する傾向がある
3. 業務に関する知識・知能の習得に対する意欲を重視する傾向がある
4. 日本での滞在経験を重視する傾向がある
5. 新卒者を重視する傾向がある
6. コミュニケーション能力を重視する傾向がある
7. 主体性や誠実さを重視する傾向がある
8. 日本の文化・慣習に対する理解度を重視する傾向がある
9. 受入れ事業者での就労継続意向を重視する傾向がある
10. 他の職員とのバランス・相性を重視する傾向がある
11. その他（具体的に：)
12. 特に違いはない
13. わからない

問 15 他の在留資格と比べて、特定技能外国人の受入れを希望する介護事業者の特徴は何ですか。(○はいくつでも)

1. 「就労」を目的とした在留資格「特定技能」に係る制度の趣旨に共感している
2. 既に外国人職員を受け入れた経験がある
3. 外国人職員を受け入れた経験がない
4. 将来的な人材の確保に備えて外国人介護職員を受け入れている
5. 現時点で人材の確保に苦慮している
6. 職員の人材育成・キャリア支援の仕組みが構築されている
7. 外国人職員への支援策が充実している
8. 法人の規模が大きい（法人全体の職員数 100 人以上）
9. 都市部に事業所が多い
10. その他（具体的に：)
11. わからない

5. 日本の介護分野で働く特定技能外国人の特徴についてお尋ねします

問 16 日本で働くことを希望する特定技能外国人が、介護分野を選ぶ理由は何だと思えますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------------|-----------------------------|
| 1. 介護の仕事のステイタスが高いから | 7. 福利厚生が充実しているから |
| 2. 出身国・地域での学習・就労経験を活かしたいから | 8. 人材育成・キャリア支援の仕組みが充実しているから |
| 3. 日本の介護を学びたいから | 9. 職場で日本語を話すことができるから |
| 4. 介護福祉士国家資格を取得したいから | 10. 対人サービス業に従事したいから |
| 5. 給料が高いから | 11. 日本で長く働きたいから |
| 6. 労働時間・休日等の条件が遵守されるから | 12. 求人が多いから |
| | 13. その他（具体的に： ） |

問 17 介護分野において、他の在留資格と比べて、在留資格「特定技能」で働くことを希望する特定技能外国人の特徴は何ですか。(〇はいくつでも)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 介護・看護の学習・就労経験を有する人材が多い |
| 2. 介護・看護以外の分野での学習・就労経験を有する人材が多い |
| 3. 介護福祉士国家資格の取得意向が高い |
| 4. 自らのキャリアアップや待遇向上に熱心な人材が多い |
| 5. 日本での就労継続意向が高い |
| 6. 将来、日本で得た知識・技能を母国のために活かしたいという意向が強い |
| 7. その他（具体的に： ） |
| 8. わからない |

6. 介護分野の特定技能外国人の受入に係る今後の方針をお尋ねします

問 18 介護分野の特定技能外国人の受入について、貴機関の登録支援機関業務に係る今後3年間の方針をお答えください。

- | | | |
|-------|---------|-------|
| 1. 拡大 | 2. 現状維持 | 3. 縮小 |
|-------|---------|-------|

問 18-1 上記問 18 で、選択肢 1（拡大）を回答した方にお尋ねします。
その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 介護分野の人材確保は特に重要な課題であるから |
| 2. 介護分野のノウハウやネットワークを活かしたいから |
| 3. 支援委託契約数が伸びているから |
| 4. 他の分野に比べてコストパフォーマンスが高いから（例：利益率が高い、ノウハウを持っているので効率的な運営ができる） |
| 5. 介護分野での就労を希望する人材が増えているから |
| 6. 他の分野に比べて特定技能外国人の受入を希望する事業者が多いから |
| 7. 他の分野の求人が少ないから |
| 8. その他（具体的に： ） |

問 18-2 上記問 18 で、選択肢 3（縮小）を回答した方にお尋ねします。

その理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 貴機関の人員が不足しているから
2. 介護分野のノウハウやネットワークが不足しているから
3. 支援委託契約数が伸び悩んでいるから
4. 他の分野に比べてコストパフォーマンスが低いから（例：教育・研修のコストが高い、手間がかかる）
5. 介護事業者のニーズに合った人材を探すことが難しいから
6. 他の分野に比べて特定技能外国人の受入れを希望する事業者が少ないから
7. 他の分野に注力したいから
8. 新型コロナウイルス感染症の影響等による今後の情勢が不透明であるから
9. その他（具体的に： _____）

問 19 介護分野の特定技能外国人受入れについて、アフターコロナを見据えて、これまでの業務方針の変更を検討していることはありますか。

1. ある
2. ない

➡ 問 19-2 上記問 19 で、選択肢 1（ある）を回答した方にお尋ねします。これまでの業務方針の変更を検討しているのはどのようなことですか。（○はいくつでも）

1. 海外からの特定技能外国人受入れの強化
2. 受入れ対象国の見直し
3. 送出機関の選定及び取引内容の見直し
4. 国内での特定技能外国人採用の強化
5. 特定技能外国人の採用基準の見直し
6. 特定技能外国人に対する教育・研修のさらなる充実
7. 支援における ICT 化のより積極的な推進
8. その他（具体的に： _____）

7. 特定技能外国人の受入れに係る課題や要望についてお尋ねします

問 20 介護分野に限らず、特定技能制度全体の課題は何ですか。（○はいくつでも）

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 送出国の手続きが煩雑 | 5. 制度の周知が不十分 |
| 2. 日本での就労を希望する者が減少している | 6. 制度の運用状況や手続きに関する情報が少ない |
| 3. 入国の目途がたたない | 7. 優良な登録支援機関の情報が少ない |
| 4. 入国時の手続きに時間がかかる | 8. その他（具体的に： _____） |
| | 9. 特になし |

問 21 特定技能外国人の受入に係る介護分野特有の課題は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|----------------------------|
| 1. 介護分野での就労希望者が減少している | 6. 他の在留資格の人材を望む介護事業者が多い |
| 2. 特定技能外国人の受入れを希望する介護事業者が少ない | 7. 介護分野の運用状況や手続きに関する情報が少ない |
| 3. 制度の理解が不十分な介護事業者が多い | 8. 介護分野の先進事例に関する情報が少ない |
| 4. コストパフォーマンスが低い | 9. その他（具体的に： ） |
| 5. 介護事業者のニーズに合った人材を探すことが難しい | 10. 特になし |

問 22 その他、特定技能外国人の受入れについてのご意見がありましたら、自由にご記入ください。

--

～ご回答ありがとうございました～